

決算特別委員会

赤字でも 区財政は堅調

沢田あゆみ 委員長

10年連続黒字だった新宿区の決算は、2023年度、2024年度と実質単年度収支が赤字となりましたが、2024年度当初想定していた基金（区の貯金）残高より92億円多く、区財政は引き続き堅調と言えます。

2024年度は、日本共産党が提案した学校給食完全無償化や学童クラブの新設・拡充、夏休み等の弁当配送サービス拡充、障害児タイムケアの充実などが実現しました。一方で物価高で区民生活は大ピンチです。今こそ、区が区民生活を支えるべきです。



自衛隊への 名簿提供は止めるべき

佐藤佳一 委員

地方自治体が住民の個人情報を見つからないなどの理由で高齢者の住まい探しは大変です。区営住宅の新設や、高齢者など配慮が必要な人の入居を拒まない「セーフティネット住宅」の充実を求めましたが、区の答弁は消極的です。

しかし、区長は自衛隊員募集に使われる区民の個人情報を見つからないなどの理由で、区民の個人情報を自衛隊に提供することを検討しています。日本共産党は、区民の個人情報を保護するために名簿は提供しないよう求めました。



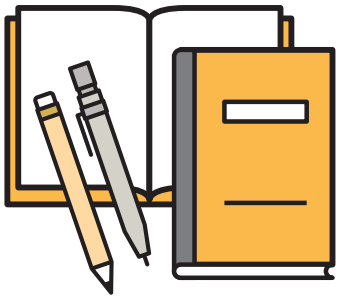
学用品無償化、 教員不足解消を

杉山直子 委員

物価高が続く中、学用品などの無償化に踏み切る自治体が増えています。この夏文部科学省が補助教材や学用品等にかかる保護者負担軽減を求める通知を出していることを指摘し、他自治体に続くことを求めましたが、区教育委員会は、就学援助や入学祝い金を口実に、消極的な姿勢を変えませんでした。

区として教員の確保を

複数校を兼務している教員がいるなど現場は大変です。区が雇用する教員を増やすなど対策を求めましたが、現場に寄り添った姿勢が見られませんでした。



高齢者の住宅確保を

藤原たけき 委員

高齢者の住まい探しは大変です。区営住宅の新設や、高齢者など配慮が必要な人の入居を拒まない「セーフティネット住宅」の充実を求めましたが、区の答弁は消極的です。

特別養護老人ホーム待機者への支援を

特養ホーム入所を待つ間、有料老人ホームに入っている方の費用負担を軽減するため、江戸川区のような特養待機者への補助を提案しましたが、区は消極的な姿勢でしたが、今後も実現をめざします。



高すぎる火葬料金の引き下げを！

独占的に火葬場を運営している民間事業者が、通常より安い区民葬儀の制度から撤退します。

そもそも公益性を守るべき火葬場がこれまで火葬料金を3年間で31,000円も値上げをして、今や90,000円にもなっていることに対して、適正な運営や料金引き下げを求めて陳情が複数提出され、議論してきました。区民の負担軽減のため、引き続き火葬料金引き下げに取り組んでいきます。

住宅街でもねずみ対策を

区が「繁華街ねずみ対策」として行った歌舞伎町でのねずみの一斉駆除に対し、他の繁華街や住宅街でも実施してほしいという声が多数寄せられ、日本共産党は繰り返し求めてきました。その後、大久保・百人町でも同様のねずみ対策が行われ、今では他会派からも対策強化への声上がり、区はついに住宅街でも対策を行うことを表明しました。



戸山1丁目

「エボラウイルス研究施設」 建設情報は誤り



日本共産党は、旧若松住宅跡地(国有地)について「エボラの施設ができるのか？」という声が寄せられたため、参議院議員を通じて国(財務省)に問い合わせました。

2023年11月に防衛省が「当該土地の利用について検討したい」と要望し、今年度予算を計上していることがわかりました。虚偽の情報で住民の不安が煽られることのないよう区が正確な情報を収集し、区民に周知すべきと区長に求めました。

日本共産党は、この土地を、区民の福祉のために活用することを再三求めています。